

●2021年度京都府交響プロジェクト交付金（300万円）の申請を行う

有田大村大いに書類修正有り 7項目 申請の主な作業 増える みんな力を合わせて記録と参加呼びかけを

再任された理事のうち有田さんが2021年度京都府地域交響プロジェクト交付金（最高限度額300万円）の申請を担当することになって、4月から申請書類作成に取り掛かっていただきました。交付申請に当たっての検討から、多くの皆様からのご意見の提案を求めましたが、具体的に提案がなかったため、2020年度の計画をベースにして、先に提出していた3か年計画の具体化で骨子を考えました。昨年度は結成25周年を記念して「木津川生育植物写真集」に取り組みましたが、今年は目新しいメインの取組みはなく、7つのイベントを優劣なく重視することにいたしました。特に昨年から続いてきたコロナウイルスが世界的な流行となっていることもあり、軽々にイベントを展開できない状況を計算しての取組みとなります。早くも親子花見乗船体験、春の野草を食する会、ホテルの夕べと里山音楽会は開催できませんでした。また直近ではオオムラサキ観察会も中止せざるを得なくなりました。これまでになく非常に苦しい状況になっています。大変厳しい局面ですが、みんなで力を合わせて乗り切りたいと思っています。

●今年の「親子で遊ぼう学ぼう魚とり」は河川レンジャーが組織としての支援が無理とのことで、里山の会の単独主催となるということで、事務局会議で喧々諤々の大論議の末、わずか1票の差で未開催となりました。しかし少数意見も尊重する立場から、論議を踏まえて開催できる代替案の提案を要望しました。

未開催の理由として「スタッフの高齢化と高齢化、コロナと熱中症など、安心安全の立場から無理ができない」

積極的な開催理由として「これまで要望があり続けて開催してきた」といった意見がありました。そのほか中止するとした場合、魚とりを計画されているイベントを紹介しては、などという意見がありました。そのほか河川レンジャーから里山の会に対して財政面の支援もありましたが、今日では……。

●木津川に生えている真竹の所有者に提供依頼日程決まらず

6月のはじめ真竹の藪を点検して、官・民の境界を調べることになりました。竹蛇籠に使う真竹の藪を所有しておられる方が判明したので、竹の提供の依頼に伺うことになりましたが、すんなりと実行できるどころまで話が進展しませんでした。無償で協力を得ようということなのでなかなか難しく、腰が重いです。苦勞しています。

中聖牛製作場所の最終確認

本日から7月に入ります。9月からいよいよ竹蛇籠の製作に取り掛からなくてはなりません。そのための準備も整えておかななくてはならなくなってきました。あと2か月といってもあつという間に時は過ぎてゆきます。早く諸準備をしなくてはと気が焦ります。大急ぎで竹の準備は整えなければと思います。播川さんたちが6月12日に真竹を調べて早くも20日が過ぎました。ピッチを上げて準備を急ぎたいものです。

●夜の生きもの調べ実施 募集始まる

昨年桜谷先生のご指導でバタフライトラップ（捕虫器）を仕掛けると8月初旬に数年ぶりにオオムラサキの成虫を捕獲確認ができました。今年も先生の助言で8月まで仕掛けてみよう和金田さん

には考えていただいております。昨年末には、オオムラサキの幼虫をかなりの数を確認できているので、きっと順調に成長してくれていると思っています。さて今年の夜の生き物調べですがコロナウイルス感染防止に重視のため、検温・マスクを徹底し、参加人数の定員を縮小してできるだけ密を避けるように配慮して開催いたします。ご不便や制限があつてご迷惑ですが、ご協力お力添えをよろしくお願いいたします。ご参加の場合はホームページからお願いします。

●オオムラサキに大きな贈り物
ドングリの若木 20 本植樹する 30 日（水曜日）1 時 30 分

数年前の台風で巨木が倒れて里山農園周囲のエノキやコナラなど昆虫にとって樹液を提供してくれる樹木が少なくなってきたので、植樹が必要ではないかとなり、不十分ながら実施してきました。昆虫のお世話をいただいている方の頑張りや苗木をお世話していただき実行できています。なかなか言うは易しで、思うように進展できていませんが、気長に頑張りたいと思います。



●6 月 27 日里山農園一斉草刈り実施

里山農園では、できるだけ利用者の皆さんの自力で維持管理をしていただけるようにしたという方針を持っておりました。しかし、なかなか計画できるところまで到達できなかったのが正直です。最近子育て最中の方々が三々五々お集まりになって、顔を出していただく方々が増える兆しが見えてきて里山農園の維持管理が計画的に運営され始め、イノシシ防御網の点検やそのための草刈りが少しずつ自力で行えるようになって、農園の雰囲気が変わり始め、その結果今年はササユリが 6 株開花してきました。特にこれ迄見つからなかった新しい場所に一株で 4 輪に開花したところが見つかりました。みんなで力を合わせると素晴らしい成果につながっていくのだなあと思います。

●里山農園でマムシ捕獲

過日里山農園で草むらにひそんでいたマムシがみつかりました。以前からこの付近にはマムシがいるから注意するように言われていました。一番大きな蛇はアオダイショウと言われるもので 1m 以上になりますが、マムシは 30 cm ぐらいです。ですから尻尾を踏むと反り返って食らいつきます。特に秋のマムシは卵をだす為に猛毒の歯があつて噛まれると大事になります。ですから十分に注意が必要です。親父からこんなことをよく言われてきました。マムシがいそうなところは足を上げて歩くな、引きずって歩け、鎌を持って歩け、ズボン裾の広いものを用意しろ、事前に歩く前を長い棒で叩いておけ、刈り取った草は固めるな、片付けておけ、マムシの住処になるから、などと言われていました。私はこういったことを良く言い聞かされていたので、できるだけ雑草は刈り取り、マムシが近寄れないように常に気をつけてきました。少なくともマムシが見つけれられるということはマムシにとって良い居心地になってきているのではないのでしょうか。子どもたちが駆け回ってくれるのはいいのですが、親などの大人がしっかり手入れをする必要があります。農園管理には特に気を付けていきましょう。